

OKIグループのCSR推進の取り組み

OKIグループは企業理念に根差したCSRを的確に果たすため、表に示す7つの活動領域を中心に、CSR推進の専任組織と関連部門が連携して活動を推進しています。

各活動領域における2014年度の活動状況の詳細は、以下の各ページにおいてご紹介いたします。

CSR 活動領域における状況

活動領域	2014年度注力ポイント	2014年度の状況	2015年度注力ポイント
コンプライアンスの徹底 P13、14	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外におけるコンプライアンスリスク対応の強化 ● 教育内容の浸透のための施策強化 ● CSR調達へのさらなる推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外各社へのコンプライアンスリスク予防施策展開を強化 ● 各種教育を強化し意識調査で効果を確認 ● CSR調達調査および紛争鉱物調査を継続し、海外でも調査を開始 	<ul style="list-style-type: none"> ● リスク評価に基づく実効性あるマネジメントの推進 ● 教育内容の浸透のための施策強化 ● CSR調達へのさらなる推進
情報セキュリティ P15	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外拠点のセキュリティ管理強化 ● サイバー攻撃への対応強化 	<ul style="list-style-type: none"> ● アジア/オセアニア地区でセキュリティ管理ツールを導入 ● 標的型メールへの対応を強化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 内部不正対策の強化 ● 中国拠点におけるセキュリティ強化
お客様満足の上向 P16、17	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業の特性に応じた品質教育の充実 ● UD技術の応用拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業部門における品質教育を充実 ● ATMにおけるUDの取り組みを強化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業の特性に応じた品質教育の充実 ● UD技術の応用拡大
株主・投資家への情報発信 P17	<ul style="list-style-type: none"> ● 中期経営計画2016の取り組み状況を適時適切に開示 	<ul style="list-style-type: none"> ● 国内外投資家とのコミュニケーションを強化し取り組みを説明 	<ul style="list-style-type: none"> ● 国内外投資家とのコミュニケーションを拡大 ● 建設的な対話を促進するための取り組み強化
社員の尊重 P18	<ul style="list-style-type: none"> ● ダイバーシティの推進 ● 次世代育成支援の継続推進 ● ワーク・ライフ・バランスの継続推進 ● 心身の健康づくり継続支援 	<ul style="list-style-type: none"> ● 女性の活躍推進のため、セミナー・説明会を実施 ● グループ企業で「くるみん」を取得 ● 目的別休暇の時間単位取得制度運用開始 	<ul style="list-style-type: none"> ● ダイバーシティマネジメントの推進 ● 次世代育成支援の継続推進 ● ワーク・ライフ・バランスの継続推進 ● 心身の健康づくり支援強化
社会貢献 P19	<ul style="list-style-type: none"> ● 復興支援活動の継続実施 ● 国内外での貢献活動の継続推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 各種復興支援活動を継続実施 ● 遠隔職場実習を10年連続で実施 ● 国内外で教育支援につながる活動を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 復興支援活動の継続実施 ● 国内外での貢献活動の継続推進
環境への対応 P10、20、21 および「環境報告書」	【低炭素社会の実現】		
	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業活動におけるエネルギー消費効率の向上 ● 低消費電力商品の創出によるCO₂排出抑制 	<ul style="list-style-type: none"> ● 原単位改善目標を達成 ● 省電力商品7件を開発完了 	<ul style="list-style-type: none"> ● エネルギー消費効率の向上 ● 計画的な設備更新、運用改善、など ● 低消費電力商品の創出によるCO₂排出抑制
	【汚染の予防】		
	<ul style="list-style-type: none"> ● 有害化学物質の大気、水系への排出量削減 ● 製品含有化学物質規制などへの適合性向上 	<ul style="list-style-type: none"> ● 原単位削減目標を達成 ● 法改正情報などを反映完了し順法確保 	<ul style="list-style-type: none"> ● 有害化学物質の排出量削減（大気、水系） ● 製品含有化学物質関連の各種規制への適合性向上等による順法確保
	【資源循環】		
<ul style="list-style-type: none"> ● 産業廃棄物広域認定制度の取扱量拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ● 認定拡大の申請調整のため、取扱量拡大目標は未達 	<ul style="list-style-type: none"> ● 産業廃棄物広域認定制度の取扱量拡大（適正処理とリサイクル推進） 	
【生物多様性保全】			
<ul style="list-style-type: none"> ● 生物多様性保全の観点から汚染の予防などに取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ● 低炭素社会の実現：目標達成 ● 汚染の予防：目標達成 ● 資源循環：未達成（上記参照） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 生態系サービスに対する影響度の低減 	